授業科目　アスリートの世界

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会・看護・情報
佐藤　敏郎、 久保倉　里美	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	○

【概要・一般目標：GIO】

アスリートは各競技会において優秀な成績を収めるために多くの時間を費やしている。その競技に対する姿勢や哲学を現役選手の実践方法を元に学び、より高度なパフォーマンスを支えるための「心・技・体」は何なのかを講義形式で検証していく。

【学習目標・行動目標：SBO】

実際にアスリートが取り巻く環境を理解し、競技に対する取り組み方を知る。また、その中で自分自身の生活に置き換えられるようなヒントを得る。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス		授業の進め方・評価方法の説明など。レポート調査。、担当：久保倉　里美
2	アスリートに必要な資質		アスリートの生い立ちや生活環境、指導者との出会いなどについて知ることで必要なスキルを考える。、担当：久保倉　里美
3	目標設定と達成方法		どのように目標を達成して行けば良いのか？実践例から具体的な方法を探る。、担当：久保倉　里美
4	トレーニングの種類と方法		より高い競技力を習得するためには、どんなトレーニングがあるのか？スポーツ科学が現場でどのようにしていかされているのかを知る。、担当：久保倉　里美
5	アスリートのメンタルスキル		大舞台でベストパフォーマンスを発揮するためにはどのようなメンタルが必要なのか、その秘策を探る。、担当：久保倉　里美
6	アスリートを支える環境やドーピングなどの問題点		競技に打ち込める環境をどのように獲得しているのか？また、アスリートにおけるドーピングなどの問題点を実践例を交えながら、解決していくためにはどうしたら良いのかを考える、担当：久保倉　里美
7	アスリートから見たオリンピック		実際のオリンピックとはどのような場所なのか？また、選手たちはどうやってその舞台にたどり着くのかを学ぶ。、担当：久保倉　里美
8	まとめ		授業全体を通して感じたこと、今後どのように役立てて行きたいかを発表してもらう。、担当：久保倉　里美

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

出席・授業への姿勢・レポート内容での総合評価。

【履修上の留意点】

毎時間ごとにレポートを提出してもらう。

原則として、授業の途中退席、不正行為は一切認めない。